

1 学校教育目標 夢をもち 仲間とともに自ら学ぶ 元気な子どもの育成 ～考える 思いやる きたえる～	2 本年度の重点目標 ① 一人一人を大切にした教育の充実 ② 学力の向上 ③ 家庭・地域との連携
---	--

重点目標を具体的に評価するための項目や指標を盛り込む

3 目標・評価

① 一人一人を大切にした教育の充実

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	担当分掌(部)
教育活動	●心の教育	自他を大切にすることの育成	・よさを伝える「心の木」活動を継続し行う。 ・特別活動や総合的な学習の時間において自主性・実践力、共生の心を育む交流活動を仕組む。	・「心の木」の取り組みを継続し、温かい言葉や行為を全校に紹介する。(放送など) ・異学年で交流を図る縦割り活動や金立特別支援学校、ロザリオ幼稚園等とのふれあい交流学習を充実させる。	心の教育 特活
教育活動	●いじめの問題への対応	いじめ根絶の取り組みと思いやる心の育成	・いじめをおこさない、見過ごさない学級経営にむけ、教師の指導力を高める研修会を年間2回行う。 ・いじめの早期発見のため、月1回アンケートを行う。 ・相手を思いやり、他人のことを考えて行動できる児童を育成する集会等を学期に1回行う。	・いじめ防止対策委員会外部委員やカウンセラー等と連携し、いじめ防止に向けた研修を行う。 ・月1回の心のアンケートにより実態把握し、いじめを早期発見し対応する。 ・「いじめ0宣言」、人権集会を毎学期行う。	生徒指導 人権・同和教育
教育活動	○個に応じた教育	教育相談・特別支援教育による支援の組織化 不登校の解消	・定期的に専門部会を開催し、実態把握と共通理解に努め、組織として対応する。 ・個別の支援計画を作成し、実施・見直しを定期的に行う。 ・相談室の状況の共通理解を図る。	・ケース会議、特別支援委員会、連絡会、協議会を行い、対応策を検討し、常にチームで対応する。 ・学期ごとに個別の支援計画に基づき、評価・見直しを行い、支援の充実を図る。	特別支援
教育活動	●志を高める教育	自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちをもつ教育活動の推進	・郷土や地域について学ぶ体験活動を実施し、「佐賀に愛着を持っている」と回答する児童を80%以上にする。	・地域の郷土学習資料を活用した授業に取り組む。 ・地域の教育資源や人材等を活用した体験活動を実施する。	生活・総合
教育活動	○読書活動	読書活動の推進	・「あすなるタイム」による読書活動の習慣化を行う。 ・「Book Challenge」に取り組む。 ・低、中、高ごとに読破目標冊数 低学年120冊 中学年100冊 高学年80冊	・読み語り(めつきらもつきら、担任、委員会)を充実させる。 ・図書館の時間の確保(短時間でも可)と呼びかけを行う。 ・3段階+1の突破賞を発行し意欲を高める。	図書部教育

② 学力の向上

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	担当分掌(部)
教育活動	●学力の向上	算数科を中心とした学習指導法の工夫改善	・全ての教師が年間1回、研究授業を実施する。 ・12月の佐賀県学習状況調査で、4月の全国調査の「到達状況(=平均正答率+十分達成)」を上回る。 ・教育センターと連携し、教科等の研修会に1回以上参加する。	・全ての教師が、全体研もしくはグループ研において授業を公開し、事後の研究会で指導法について研鑽を深める。 ・全ての教師が、基本的に年間1回以上教育センター講座受講や講座授業参観を行い研鑽を深める。	研究
教育活動	○学習習慣	学習習慣の定着	・家庭学習の充実を図り、「1週間の課題忘れの」クラス8割を目指す。 ・国語タイム、算数タイムの充実を図る。 ・計算ドリル2回及び検定テスト(学期1回)を実施し、80%以上を合格とする。	・北っ子ががんばろう週間を実施し、集計結果を活用する。 ・国語タイム、算数タイムを実施する。 ・ドリル2回の習慣を定着させる。(スーパースクール)	研究
教育活動	●教育の質の向上に向けたICT利活用教育の実施	ICTを利活用した授業の充実	・ICTを利活用した授業を1日に1回以上行う。 ・ICTの授業での効果的な活用についての研修を定期的に行う。	・電子黒板、デジタル教科書、学習探検ナビ等の活用例を紹介し合う。 ・校内研究授業の研究会において、協議の中に「ICTの利活用について」の項目を設定し、効果的な活用について研修を深める。	情報教育

③ 家庭・地域との連携

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	担当分掌(部)
学校運営	○家庭・地域連携	家庭・地域との連携による教育力向上	・学校便りやHP等で、学校や児童の様子を伝え、情報共有をする。また、学校行事等への参加・協力を保護者・地域へ依頼する。 ・ふるさとに学ぶ学習を推進する。 ・北っ子ががんばろう週間を毎月実施する。 ・幼保との連携を大切にする。 ・地域のボランティアを受け入れ、教育の充実を図る。	・HPや学校・学年・学級便りによる学校からの情報発信を行う。 ・ふるさとコーナーの設置や3年生を中心に、ふるさと講座、ふるさと探検等ふるさとに学ぶ学習を行う。 ・保護者宛にメールでがんばろう週間の啓発をする。	情報教育 学校HP
教育活動	●健康・体づくり	望ましい生活習慣の形成	・規則正しい生活習慣の形成をめざし、定期的な振り返りを行う。 ・専門的な知識を持った職員と連携し、T授業(健康、食育など)を行う。 ・体づくりをする。	・生活アンケートを実施する。 ・生活点検表(早寝・早起き・朝ごはん・ゲームの時間等)による定期的な評価を指導に生かす。朝食の喫食率80%以上を目指す。 ・養護教諭、栄養職員と連携し、食育、健康教育の授業を実施する。 ・スポーツチャレンジに参加する。	保健 食育

本年度の重点目標に含まれない共通評価項目(あれば記入)

学校運営	●業務改善・教職員の働き方改革の推進	働き方改革の実現に対する意識の高揚及び業務の効率化	・定時退勤推進日を確実に実施する。 ・週案の共有をし、全職員で取り組む。	・個々の職員の業績評価計画に位置づけられた「効率的な働き方」をサポートし、健全な勤務体制を構築していく。 ・生活指導支援員の効果的な運用を目指し、全学級の週案を集約する。	安全・衛生
------	--------------------	---------------------------	---	--	-------

●は共通評価項目のうち必須項目、○は独自評価項目